

## 令和元年度第1回山口県教育振興推進会議（概要）

日時：令和元年9月6日（金） 15時～17時

場所：教育委員会室

### 議事 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価について

#### ■資料1及び資料2に基づき事務局より説明

#### ■主な意見

##### ○特別支援教育について

- ・特別な支援を必要とする子どもが増えてきており、教員の加配やコーディネーターの配置等、組織的な対応が必要である。
- ・特別支援教育の知識や経験のある方が管理職になっていくことが望ましい。
- ・下関双葉高校のような多部制の定時制高校の設置により、様々な個性を持つ子どもたちの選択肢が広がっている。このような取組はもっと進めてほしい。

##### ○暴力行為等について

- ・子どもたちが小さい頃からスマートフォン等を利用するようになっており、影響があるのではないかと。いじめにも関係してくるのではないかと。
- ・乳幼児期から、親をとおして、インターネットやスマートフォンの適切な利用について教育をすることが望ましい。

##### ○学校の働き方改革について

- ・共働き家庭が多く、地域との関わりも希薄になっているため、学校への期待や教員の負担が増えている。
- ・家庭教育支援に力を入れ、PTAのあり方を変えていく必要がある。
- ・社会全体の意識改革が必要である。また、教員が学校の業務の見直しについて学ぶ機会も設けるべきである。

##### ○キャリア教育や県内進学、県内就職について

- ・高校生だけでなく、もっと早い段階で県内進学、県内就職を意識できるような取組があればいいのではないかと。
- ・専門家を招いて出前授業を行うなど、様々な選択肢があることを子どもたちに伝えていくべきである。
- ・Society5.0時代に仕事のやり方が変わっていく可能性は大いにあり、企業が必要とする人材に子どもたちを育てていく必要がある。